

第119回 維持管理研究会 議事録

1. 開催日時 : 2021年 6月17日 (木) 16:00~17:40

2. 場 所 : Zoom リモート開催

3. 出席者 (敬称略) 17名

小田、相原、芦田、石綿、井上、大島、金子、木村、久保、澤田、守護、菅谷、高野、高橋、
柳本、柳谷、中谷 (記)

※ゲスト参加 (地域勉強会) 16名

丸谷、高橋 (孝)、高橋 (義) 飯田、萩原、佐藤、柳父、石井 (秀)、石井 (洋) 安藤、
大竹、加藤、中村、、山下、宮角、杉山、渡部、

※講師他 (NTT-LS) 3名

杉山、比留間、西村

4. 研究テーマ

最近、テレワークが日常化している中で、大地震等の緊急事態発生時における最適な対策本部の設置方法や運用について、多くのメンバーが苦慮されていることから、NTT-LS (杉山様) にご協力を頂き、Web活用による対策本部の運用に有効な「Web-EOC」について機能や運用方法について講義して頂いた。

(次ページに抜粋資料を添付)

社会インフラが使用可能な場所であれば、何処からでも活動・対応可能ですので、「代替対策本部」の設置場所や役割も大きく変わってくると考えられます。

今後の危機対策本部の体制や組織の在り方について、一つの考え方の参考になったと思います。

5. 所見

今回は、地域勉強会の方々の多くの参加があり、またメンバーからも多くの質問があり、かなり活発な意見交換を行うことができ、大変有意義な研究会であった。

<次回予定>

・7月15日 (木) 16:00~17:30

以上

抜粋資料

WebEOC説明資料

「ニューノーマル時代の新たな災害対応を目指す
WebEOC®を活用したリモート危機管理室の運営ノウハウ」

エヌ・ティ・エー・コンサルティングシステムズ株式会社
防災士 杉山 昌弘

ニューノーマル時代に求められる変化

- 対策本部のあり方 「集成型」 → 「リモートワーク型」
- 対策本部要員の働き方 「24時間勤務」 → 「ワークシェアリング」
- BCPで扱うリスク領域 「自然災害」 → 「あらゆるインシデント」
- システムに期待する効果 「現場担当の業務効率化/稼働削減」 → 「情報の可視化・スピード・正確性」

アンケート結果

緊急事態宣言中におけるリモートでの災害対策本部（リスク対策.com 2021年2月13日）
https://www.risikuhaka.com/articles/47013

リモートでの災害対策本部の備蓄について

- リモート対応は行わない: 6%
- 検討して訓練も実施した: 18%
- 検討しているが訓練までは実施していない: 53%
- まだ検討していない: 24%

WebEOC®の概要と機能紹介

WebEOC®の特長

1. ボードエディターというユーザー自身で機能改修を加えられる仕組みにより、フレキシブルにシステムを変更できる
2. オールハザードに対応。自然災害に限らない、日常に発生するインシデント全般に利用できる
3. 訓練シミュレーター機能により、訓練時の状況付与を自動で実行可能
4. 高度なシステム連携による統合的な危機管理が可能

災害対策本部訓練にて、訓練シナリオに沿って、紙で状況付与を行う替わりに、システム上で簡易に行うことができます。Webシステムのため、離れた拠点間での同時訓練に利用できます。

訓練シミュレータを活用した訓練モデル

訓練シミュレータを使って様々なハザードシナリオを、組織全体、部署別、担当別での訓練を随時実施することが可能

オールハザードシナリオ

- 地震
- 台風・豪雨・洪水
- パンデミック
- 大規模事故
- サイバーセキュリティインシデント
- イベント

ArcGIS Extension WebEOC

ボードエディターで作成したボードをArcGISの地図とシームレスに連携することが可能

リモート危機管理室でのWebEOC利用事例

ICTツールを活用したリモート危機管理室の業務フロー

リモート危機管理室 (WebEOC®)

危険・災害発生 → 参集職員 → 連絡処理票 → クロロロジー → 業務テンプレート (拠点被害) → ダッシュボード

連絡処理票

指示・依頼内容を進捗管理する「連絡処理票」
各機関や本部・支機関における、情報の周知・依頼およびタスクの管理に使用

クロロロジー

各階内の活動状況を記録する「クロロロジー」
班内で収集した被害情報や活動状況の記録、交代人員との引継ぎに活用

拠点被害 (業務テンプレート)

重要拠点の被害状況を管理する「拠点被害」
企業を持つ重要な資産である工場や営業所等の被害状況を把握し、企業の事業継続に関わる経営判断に使用

本部とりまとめ報

災害時の経営判断に関わる意思決定を支援する「本部とりまとめ報」
各回の災害対応における課題をとりまとめ、会議の場でトップの意思決定を仰ぐ際に使用

ダッシュボード

「ArcGISダッシュボード」
危機対応の責任者をはじめとする幹部が、リアルタイムに状況を把握するために使用